

川崎市子どもの権利に関する条例のあゆみ



1994年
(平成6年)

★ 子どもの権利条約批准

- 日本が「子どもの権利条約」を批准
- 子どもの権利を大切にする
社会づくりへの機運が高まる



©UNICEF/Ruby Mera 提供:(公財)日本ユニセフ協会

1998年
(平成10年)

条例検討開始

- 子どもの権利を保障するための検討組織として
「川崎市子どもの権利条例検討連絡会議」を設置
- 川崎市長が同会議に条例づくりに関することを諮問



**1998年～
2000年**
(平成10年～12年)

子ども・市民参加で検討

- 200回を超える会議や集会を開催し、
 - 「子ども・市民・関係団体」が参加し、
条例の骨子案をつくる
- 子どもの参加: 調査研究委員会(9人)、子ども委員会(33人)



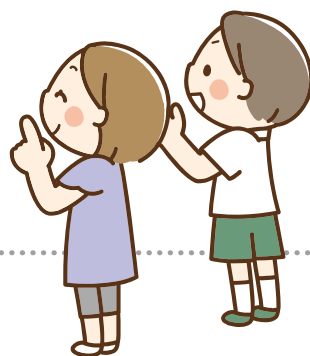
2000年
(平成12年)

市長へ答申

- 「川崎市子ども権利条例検討連絡会議」から川崎市長へ答申
- 答申内容をもとに条例案が整えられる

★ 条例制定

- 川崎市議会において条例案が全会一致で可決
- 全国初の総合的な子どもの権利条例が誕生



2001年
(平成13年)

条例施行

- 子どもの権利を総合的に保障する仕組みがスタート

2002年
(平成14年)

川崎市子ども会議開始

- 子どもが自分の意見を表明し、
まちづくりに参加する仕組みが始まる



子ども夢パーク運営準備会

- 公募で募った子ども委員34人、
おとな委員16名で構成

